

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

## インターンシップを実施いたしました。



東北森林管理局の概要、森林計画制度等について説明



林地状況を確認しながら間伐木を選定しました



木材の販売方法と採材の考え方について説明

銅山川地すべり現場説明の様子  
(国土防災技術 (株))下刈作業で働く方々の生の声を  
聞きました (真室川森林造成事業  
協同組合)地元製材工場での意見交換の様子  
(真室川町 (株) 庄司製材所)

【8月4日～6日】当支署では山形県立農林大学校からの依頼を受けて、学生4名を対象にインターンシップを実施いたしました。

主な内容は、東北森林管理局の概要、公務員の職務、森林計画制度、収穫調査業務、森林育成業務、製品生産業務、治山業務、製材工場の見学を行いました。

一日の終了後は「本日のふりかえり」を行い、学生と意見交換を行うスタイルで実施いたしました。

また、インターンシップ最終日には山形森林管理署と最上支署の若手職員も参加し、銅山川地すべり箇所（大蔵村の私有地を山形県の要請を受け国有林で実行中）と地元製材工場を見学いたしました。

銅山川地区では、総延長約6kmの排水地下トンネルの排水状況と地上からの深さ109mの集水井工の排水状況など、現場責任者の説明を受けながら状況を確認しました。

改めて、事業規模の大きさを再確認するとともに、地域住民の安全・安心への取り組みを学びました。

製材工場の見学では、工場で使用している木材の仕入れ方法や、製品の輸出先（海外）、バイオマスボイラーの稼働燃料（スギ皮等）等々の説明があり、学生からは製品や製材に関する質問がされるなど、終始熱心に取り組んでくれる姿勢に感心させられました。

今回、インターンシップを実施するにあたり、国有林の業務を解り易く学生に伝えることができたのか？資料は適切だったのか？カリキュラムの組み方は？等々・・・色々あると思いますが、学生からは、山の見方、間伐の設計、生産・造林・治山事業について、見て感じて理解出来たこと、今後も「農林大学校で勉強に励む」旨の感想をいただき実施して良かったと思えました。



山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林